

21世紀を切り開く住民自治―主権者の輝く地域づくりを研究所とともに・ホームページ <https://jitiken.jimdofree.com/>

福岡の暮らしと自治

2023年10月15日
第 550 号

編集・発行
公益社団法人福岡県自治体問題研究所
(全国研・九州連絡所併置)
福岡市博多区博多駅前1丁目
19番3号 〒812-0011
公社設立博多駅前ビル508号
電話・FAX 092-472-4675
郵便振替 01780-7-31231
(発行人) 石川捷治
(題字) 鮫島国三

本号、早わかり

- P.1 九大跡地利用「音楽大学」構想 (齋藤輝二)
- P.4 田澤義鋪と朝鮮人虐殺 (杉谷雅博)
- P.5 福岡みやした・メールじょうほう (宮下和裕)
- P.12 第43回自治体フォーラムのご案内

九大跡地利用

「音楽大学」構想

齋藤輝二 (運営委員、元東和大学教授、建築・集落・地域計画)

1. 九大跡地利用計画の概要

(1) 計画跡地面積

九州大学箱崎キャンパス跡地の面積は50ヘクタール、募集地面積は28ヘクタールである。

(2) 基本コンセプト

九州大学百年の存在をいかした拠点の創出。高質で快適なライフスタイルや都市空間、イノベーションを生み出すまち。コンセプトとして「FUKUOKA Smart EAST」を基本的考えとして提案している。少子高齢化などの様々の課題を解決しながら、持続的に発展していくために、最先端の技術革新の導入などによる、

はじめに
九州最大の空地が九州大学箱崎キャンパス跡地である。今後このような広い空地は出てこないであろう。事業の主体は九州大学及びUR、福岡市等である。事業は公募の提案型で、提案が選定された団体が優先的に土地譲渡の事業者になる。地域大手企業や住宅都市整備公団等が大雑把な土地利用計画を提案してきた。現在、土地利用計画を提案していた団体は意見不一致で積極的な団体は見当たらない。そこで、日本第5位の大都市福岡市に不足している文化教育機関としての音楽大学の構想を提案したい。また、他に科学技術の先端研究施設として既に「理化学研究所九州支所」を提案した。

快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れる都市空間

(3) 方向性

九州大学の地に存在した歴史的資源と緑を生かし、その面影や記憶を継承する。

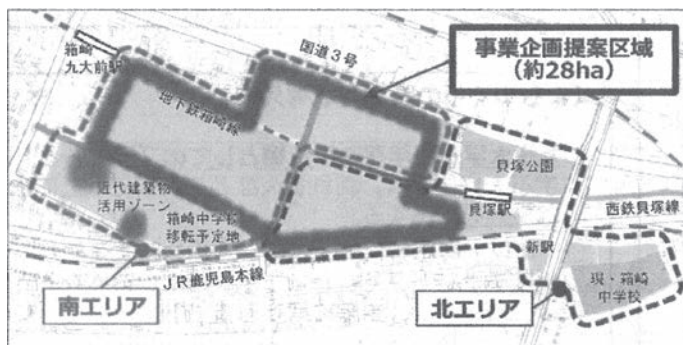


図1.九州大学跡地利用構想マップ (福岡市福祉都市委員会報告資料、ホームページより)

43福岡県自治体フォーラム

11/12 (日)、西南学院大学のコミュニティセンターでお会いしましょう。(詳細は本号最終面、12ページをご覧ください)

	福岡市・都市圏内	その他の地域
1	九州大学	九州工業大学
2	福岡教育大学	近畿大学産業理工学部
3	福岡大学	北九州市立大学
4	西南大学	九州栄養福祉大学
5	九州産業大学	九州共立大学
6	福岡歯科大学	九州国際大学
7	福岡工業大学	九州歯科大学
8	第一薬科大学	九州女子大学
9	中村学園大学	九州産業医科大学
10	純真学園大学	九州職業能力開発大学校
11	日本経済大学	国際医療福祉大学
12	福岡看護大学	西南女学院大学
13	福岡女学院看護大学	聖マリア学院大学
14	筑紫女学院大学	帝京大学福岡医療学部
15	日本赤十字九州国際看護大学	福岡県立大学
16	福岡女子大学	久留米大学
17	令和健康科学大学	久留米工業大学
18	九州情報大学	西日本工業大学
19		九州工業大学情報工学部

表 1・福岡県内の大学一覧 注：福岡県内大学一覧より（インターネットより）

表 2. 日本の音楽大学・短期大学（九州山口地区のみ）一覧

	大学名	大学・短期大学名（山口九州のみ）
北海道・東北	札幌大谷大学芸術学部音楽科	中部 愛知県立大学音楽学部 名古屋音楽大学 名古屋芸術大学音楽学部
	宮城学院女子大学学芸学部音楽科	
関東・甲信越	東京芸術大学音楽部	関西・中国・四国 大阪音楽大学 大阪芸術大学芸術学部音楽科 相愛大学音楽学部 同支社女子大学学芸学部音楽科 京都市立芸術大学音楽学部 神戸女学院大学音楽学部 武庫川女子大学音楽学部 くらしき作陽大学音楽学部 エリザベト音楽大学 徳島文理大学音楽学部 山口芸術短期大学音楽科
	国立音楽大学	
	桐朋学園大学音楽部	
	武蔵野音楽大学	
	日本大学芸術学部音楽科	
	上野学園大学音楽学部	
	桜美林大学芸術文化学部音楽専修	
	玉川大学芸術学部パフォーミング・	
	アーツ学科	
	フェリス女学院大学音楽学部	
	昭和音楽大学	
	洗足学園音楽大学	
	東海大学教養学部芸術学科音楽家庭	
	尚美学園大学芸術情報学部音楽表現	
	学科	
九州	東邦音楽大学	平成音楽大学（熊本）
	聖徳大学音楽学部	活水女子大学音楽学部
	東京音楽大学	沖縄県立芸術大学音楽学部
		福岡教育大学中等教育課程音楽専攻
		福岡女子短期大学音楽科
		大分芸術大学短期大学部音楽科

注 2：全国音楽大学一覧より（インターネット）

2. 福岡県および福岡都市圏内の大学

福岡市を中心とした福岡都市圏内の4年生大学は表1に見るように18校、その他の地域には19校あり、県内合計37校が存在する。都道府県別では全国5位である。その内容は、学部が4以上の総合大学は福岡都市圏4校、その他の

地域1校の合計6校である。工学系の学部設置は福岡都市圏で5校、その他で7校（うち1校は4年生専門学校）の12校ある。医療看護福祉系の学部を設置しているのは合計21校である。4年生大学で音楽学部はないが福岡教育大に教育学部中等教育課程音楽専攻が設置されている。

3. 音楽学部学科の設置大学

全国の音楽大学・音楽科の設置校名は表2に見るとおりである。東京を含む関東甲信越地方に集中している。九州地方では、熊本県、長崎県、沖縄県に4年生の音楽専門学科がある。また、短期大学では福岡県および大分県に音楽科が設置されている。福岡は福岡教育大が中等教育

課程に音楽教員養成専攻を設置している。16政令指定都市のある都道府県で音楽大学または音楽学部のないのは3県のみである。人口が国5位の大都市福岡市は大変珍しい存在である。音楽大学は文化都市としての象徴といえるものである。文化都市としては片肺飛行のようなものといえよう。

4. 福岡県出身音楽家

ミュージシャン・活動音楽家

福岡県はアーティスト王国と評
価されているが、これはポップ
スミュージックのことである。クラッ
シック音楽家は少ない。福岡出
身の著名な音楽家としては作曲
家の団伊久磨と、ヴァイオリン
の安永徹が有名である。安永徹
はベルリンフィルのコンサート
マスターをしている。ピアニス
トは、坂本彩・リサ姉妹、占部
由美子、塩川正和等多数いる。

声楽家は中井文子、井上智恵子、
藤原千晶等いる。声楽家として
国際的に活躍しているのがバリ
トンの加来徹である。福岡市は
九州交響楽団があり、クラッシ
クの代表的演奏家集団を誇って
いる。セミプロ、アマチャヤーの
集団としては福岡都市圏内では、
福岡市民オーケストラ、福岡ジュ
ニアオーケストラ、西区フィ
ルハーモニオーケストラ、福岡
アカデミーオーケストラ、古
賀市民オーケストラ、医師会オー
ケストラ、九州大学オーケスト
ラ、西南大学オーケストラ、福
岡大学オーケストラ、筑紫女子
大学オーケストラ等10大学オー
ケストラ、春日市市民オーケス
トラ等2市。その他の地域にも
北九州交響楽団、北九州ジュニ

アーオーケストラ、久留米市民
オーケストラ、筑豊フィルハー
モニイ等多数がある。これだけ
オーケストラがある地域は日本
でもトップクラスであろう。こ
の分野では音楽県といえよう。

ポップスミュージシャンは井
上陽水、武田鉄矢、郷ひろみ、
長瀬剛、氷川きよし、藤井フミヤ、
松田聖子、浜崎あゆみ、小柳ル
ミ子、椎名林檎、チャゲアンド
アスカ、MISIA、石川さゆり
等多数に上る。まさに、「王国」
といえる。

また、各地の大きな音楽祭も
盛んである。北九州国際音楽祭
を筆頭に飯塚音楽祭、太宰府音
楽祭、大牟田音楽祭等多数であ
る。

5. 福岡音楽大学構想

九州大学箱崎キャンパスの跡
地利用で最も注意しなければな
らないのが「航空騒音」対策で
ある。福岡空港の航路の下に当
る。防音装置は特に気をつかわ
なければならぬが、技術的に
解決できるものである。福岡県
の特徴としてクラシックだけ
でなく、ポップスミュージック
の教育にも力点をおいた構成
となる。当面は学部設置のみで
あるが、将来的には大学院（修士）
設置も考えられる。

(1) 教育目標

音楽王国としての福岡県を名
実ともにする。全国的に活動で
きるだけでなく、国際的に活躍
できるミュージシャン、音楽家
を養成する。福岡県でやや少な
いクラシック音楽家を育成する。
また、福岡県民や九州の人々の
ニーズのあるポップスミュージ
シャンをも養成する。

(2) 学部学科構成

以下の学科が構想できる。

- 声楽科
 - 器楽科（ピアノ科、弦楽科、
打楽器科、吹奏学科、その他）
 - ジャズ・ポップスミュージック
科
 - 作曲・指揮科
 - コンピュータ音楽科
 - 音楽文化教育学科
 - 幼児教育学科
- 特に、ポップスミュージック
シヤンは養成される。

(3) 施設空間構成

- ①各学科棟
- ②大ホール
- ③教養教育室棟
- ④教員室
- ⑤会議室
- ⑥図書室
- ⑦本部・事務局棟
- ⑧学生クラブ室
- ⑨食堂
- ⑩運動場
- ⑪体育館
- ⑫駐車場、その他

全施設が二重ガラスなど防音
機能を施す必要がある。

(4) 必要面積

単科大学であり、4〜5ヘク
タールが必要であろう。九大跡
地利用計画の研究教育地区の中
に確保できる広さである。
(23年9月16日、まちづくり部会)



真写 1. 国立音楽大学大ホール
(同大学ホームページより)

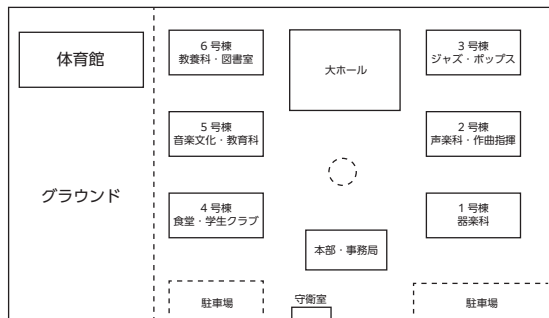


図 2. 福岡市音楽大学施設配置構想

田澤義鋪と朝鮮人虐殺

よしはる
杉谷雅博（会員）、嬉野市民生委員・児童委員）

9月1日は関東大震災から100年目、メディアにて多角的に論じられた。NHKドキュメンタリー「映像記録 関東大震災」（9月2日前編、3日後編）は力作。NHK「クローズアップ現代 集団の狂気」（8月30日）はフェイク情報と群衆心理の怖さを掘り下げた。（NHKは政府広報のようなニュースを流す一方で、こうした優れた番組を作

る）
私は帰郷後、鹿島高校の先輩である田澤義鋪（たざわ よしはる、旧制鹿島中学校・熊本第五高・東大・内務省・協調会・日本青年団理事長・選挙粛正運動など。貴族院議員）を追っている。



田澤義鋪（明治18年～昭和19年）

田澤はジュネーブで開かれた第4回世界労働会議（1922）に出席した折、欧米各国を訪れ見聞を広め、翌年4月帰国した。9月1日、大震災が発生。協調会常任理事だった田澤は協調会館を救護所として全力で支援にあたった。

経済・文化において急激に変貌を遂げている大正期の大震災。渋沢栄一、内村鑑三らのもっぱら道徳論的な「天譴論」が流行った。

田澤義鋪の震災観も「天譴論」に近い。

「かくて日本は、人禍の混乱か、地震の天災か、そのいずれかをえらぶべき運命におかれていた。人禍が先にきても天災はこれを避くるに由なかつたであらう。幸いにもはじめにきたものは天災であった」（論文「天災避けがたく人禍まぬがるべし」大正12年9月15日、『田澤義鋪選集』）
震災後の住民による相互協力は復興に向けて希望を感じさせ

るものだった。しかし、国民全体の結束と同時に「異質なもの」への排除が起こった。「流言蜚語」にもとづく朝鮮人虐殺である。自警団により、各地に閩所のようなものを作られ、町内への出入り監視とともに、朝鮮人の虐殺（中国人、社会主義者、地方からきた日本人も）が行なわれた。これには在郷軍人会、警察、消防団等とともに田澤が育てている青年団も実働部隊として関わった。

田澤はこう書いている。

「これら一切の驚嘆すべき貴きものの發揮された中に、たゞ一つ遺憾極まる痛恨事があった。この問題について、私の胸は憂悶に閉される。…流言蜚語による被扇動性と、他民族に対する慈愛の欠乏、これこそわが国民性の二大欠陥として、国民が心肝に銘じなければならぬことであらう」（前出）

大正14年、日本青年館開館式にて田澤は記念講演『道の国日本』の完成』を行なう。昭和3年に出版されるが、附録「国民性陶冶の一方」にも、雷同附和の国民病」として虐殺について

触れている。

「第三の経験は、関東大震災直後の、あの鮮人騒ぎである。時が新しいだけにあまりに記憶が生々しい。あまりに情けない。あまりにも痛ましい事件である。罪なき異郷の同胞が、流言蜚語に誤られた雷同附和の国民病のために、幾百となく無残の最期を遂げたことを思うとき、いままなお痛恨心肝に徹するを覚えざるを得ぬ。この事件を、これ以上詳記することは私の偲び得ないところである」（『田澤義鋪選集』）

史料によれば朝鮮人が暴動を起こしたという電文を発したのは、後藤文夫内務省警保局長（後、内務大臣、大政翼賛会副総裁など歴任、貴族院議員）。彼は田澤の熊本第五高以来、東大、内務省とおなじ道を歩んだ盟友である。

権力中枢（その他、多くの政治家・官僚）に近い位置にいた田澤の胸中がいかに複雑であったか。しかし、朝鮮人差別がびこるなかで田澤は「異郷の同胞」と呼んでいる。

大震災は国家主義を顕在化さ

せた。大正14年、普選法と抱き合わせに「治安維持法案」が提出された。田澤は取り締まるに具体的な「犯罪行為」がなければならぬとの近代刑法の立場から反対し、「一歩誤らば、今後治安維持法こそわが国治安を破る最有力な原因となるだろう」と述べた。(「治安維持法案の是非 悪法か将た良法か」大正14年『田澤義鋪選集』)

軍国主義国家へ加速させる。田澤はしばしば「官製青年団の指導者」として括られる。しかし、彼は青年団への軍部介入を排し、個人の自立、自由と世界平和を希求した。彼の朝鮮人虐殺に対する態度はもともと知られてよい。

* 田澤は大正4年、内務省・明治神宮造営局総務課長を命ぜられ、明治神宮造営に関わった。現在問題になっている明治神宮外苑の植樹事業にも全国からの献木・植樹、延べ11万人に登る青年団の奉仕活動を組織した。

鹿島市「田澤義鋪記念館」は2023年4月2日、神宮外苑の樹木伐採に対して、「明治神宮外苑再開発事業に係る樹木保存に関する要望書」を三井不動産表取締役社長、明治神宮宮司、同外苑苑長あて提出している。

短歌

たらちねの母在る如く夜かつぎ
月に供えて息災願う

「まあよろし」ひとりごちして
今日を閉ず

新聞読んだ便りも書いた

安東 光子

徳本正彦先生の奥さまが、吾が家にいらした時の話です。

ツーショットの写真、徳本先生がご覧になって、なかなか良い写真だね、とおっしゃったそうです。



「福岡みやした・メールじょうほう」抄

宮下和裕

(9/1/9/30、添付資料は掲載省略)
(研究所事務局長、地方自治論・政治学)

① 関東大震災時の朝鮮人虐殺・絵画に記録されたいた現場、

② 飴売り具學永(ク・ハギヨン)

(09/01)

① 関東大震災時の朝鮮人虐殺・絵画に記録されたいた現場。さて今日は、日本近代史上で最大の自然災害をきっかけにもたらされた、10万人以上の死者・行方不明者を出した関東大震災が、百年前の今日9/1に始まった記念日です。日本人として忘れてならないことは、この際に発生した六千人を超える朝鮮人虐殺事件です。あわせて大杉栄や伊藤野枝、川合義虎(共産青年同盟初代委員長)ら多くの社会主義者、「危険人物」が殺されています。今日の赤旗には新井勝紘・元専修大教授が、「記録された虐殺の現場 次世代につなぐ責任」と題して、インターネット競売で手に入れた絵巻物を紹介しています。作者は福岡県の教員画家であった大原彌市で、軍隊と警察、自警団などが一体となって何人も朝鮮人を惨殺している場面を詳細に描き「この震災を経験し

なかった人々に、省慮の念を促し」とたいと記しているそうです。この新井先生は学生時代、東経大の色川大吉ゼミに属し、あの有名な五日市憲法をゼミの調査で、旧家の蔵から発見した一人でもあります。類似の絵はいくつか現存しており、新井先生の昔の勤務先である国立民俗博物館でも、展示会がかつて開かれた記憶があります。

② 「飴売り具學永(ク・ハギヨン)」は埼玉県の片田舎で、地域に親しまれていた飴売りの朝鮮人青年、具學永(ク・ハギヨン)には、当時の犠牲者で唯一墓、墓名碑が残されているようですが、それだけ地域に親しまれていたにもかかわらず、なぜ殺されてしまったかを、韓国人の牧師、キム・ジョンスさんが日韓両国民、民衆の連帯を願い、絵本にまとめたものです。先日の研究所の 코리아研究会で、日本最初の 코리아タウンでもある下関市を見学した際、案内役をつとめていただいた鍛野保雄さんが翻訳して、日本でも出版され、研究所でも普及に取組んでいます。本体価格が1500円です。

① 岩手県知事 達増氏が当選、② 旧統一教会 解散請求へ、神宮外苑問題・桑田佳祐さん新曲で憂慮 (09/04)

① 岩手県知事 達増氏が当選、と今日9/4の赤旗が一面トップで伝えていきます。見出しに「野党共闘、自公を破る」とありますが、逆の結果であったならば今後の政局に大きな暗雲をもたらしたのと思われまます。それだけに共産党の小池書記局長が「心から歓迎」と談話を発表しているのは、同感です。ことにこのメールじょうほうでも指摘したことのある「マイナンバー保険証、保険証廃止の問題では、岩手県議会は全国初めて保険証廃止反対の決議をあげている」ことを、改めて指摘しています。

② 「旧統一教会 解散請求へ」は同じく今日の毎日の一面トップです。他の新聞にも類似の報道はありましたが、ここまで明確な表現(ちなみに読売は「解散請求権判断へ」)で、しかも一面トップというのは私に見るところ毎日だけです。先ほどの赤旗は一面の左肩で、「集団結婚式八千組 5月世界各地 本人意思で選べず」とも報じています。神宮外苑再開発問題で、「美しい杜が消滅(き)える」とサザンオールスターズの桑田佳祐さんが、坂本龍

一さんの遺志を受け継ぐとして、作詞作曲の新曲を2日発表したと、今日の毎日が報じています。

9/15、16 伊藤野枝100フェスティバルに参加しませんか (09/06)

9/15・16の両日、さいとぴア(JR筑肥線九大学研都市より徒歩1分)で、標記のイベントが開催されます。シネマアルチの吉村会員など有志の企画です。作家の森まゆみさん、講談の神田紅さん、映画評論家の矢野寛治さんが出演、「ルイズとその旅立ち」も上映されます。私も通しの参加券、3000円の普及に協力していますが、苦勞しています。お申し込みは、研究所まで。詳細は、添付のチラシをご覧ください。

① 辺野古・沖縄県敗訴、② オール岩手・共同の力10万票差の勝利、大企業内部留保過去最高511兆円、④ JRほかの業者を追い詰め建替えさせた福岡の事例、⑤ 関東大震災NHKの力作4本、トットちゃん42年ぶり (09/06)

①は、9/4 辺野古・沖縄県敗訴についての毎日、朝日の報道です。毎日の社会面の解説記事の中で、自治体問題研究所の活動家でもある、ともに行政法学者の紙野健二・名大

名誉教授、本多瀧夫・龍谷大教授が「問題は決着せず」「県民納得できぬ」と語っています。朝日は「自治を軽視する国策追認だ」との社説です。

②は9/4のメールじょうほうでお伝えした岩手県知事選挙が、10万票差の勝利、共同の力であったとの9/5の追加報道です。9/4の各紙の記事では票が確定していませんでした。相手候補の千葉絢子氏は地元の人気アナウンサーから県議となり、当初の情勢には危ういものがありました。

③は大企業の内部留保が過去最高の511兆円にも上るとの、財務省発表の法人企業統計の赤旗9/2の記事です。

④は、私がかねてから注目していた福岡市東区の舞松原駅近くに建てられた「ベルヴィ香椎六番館(60戸)」、管理組合リーダーを先頭にした25年にわたる奮闘で、JR九州ら3社の共同企業体を相手に、建て替えを実現させた秘密を、解説しています。頭が下がります。

⑤は関東大震災100年の、NHKとBSフジのドキュメンタリーの力作、4本の紹介です。NHKプラスや再放送で視聴可能です。

⑥黒柳徹子さんの「窓際のとつとちゃん」の続編が、近く発行される

との9/5の毎日のニュースです。40年前、こうした本が国民的にヒットをしていることに、色々あっても日本国民は信頼に足る、と改めて確信したものです。

新谷さん・興味深い記事をたくさん送っていただきありがとうございます。手抜き仕事のマンションを建て替えさせた運動には頭が下がりますね。

下東弁護士・いつもいつも新聞の情報紹介ありがとうございます。岩手県知事選挙の報道も全国紙では大きく報道されましたが、東京新聞での東京都の自治体選挙での、自公ではなく、また維新でもない陣営の、候補者が首長選挙で勝っているとの報道も、良い報道と感心しています。なお、紙野健二・名大名誉教授は、行政法の室井教授での同期のゼミ生でした。

宮下：先生は東大卒とばかり思っていました。御承知のように故・室井力先生はたくさんの御弟子を育てられた行政法学会の大御所ですが、拙著「福岡に地方自治の風が吹く―自治立法権の活用と展開(1988年、自治体研究社刊)」を、大学院の室井ゼミのテキストとして使っていたのだ、嬉しくも有難い思い出があります。先生から、使わせてもらっ

たとの連絡がありました。

① 旧統一協会解散請求へ積み上げた証拠 ② 利用者2千人未満の線区、JR九州全20区間赤字、沿線とJRの連携さらに西日本03・09・7

(09/07)

① 「旧統一協会解散請求へ積み上げた証拠」と、今日9/7の朝日が「時時刻刻」欄で総括的に特集しています。文科省が近く行う過料通知を経て「解散命令請求に向けた最終局面に入った」と報じています。

② 「利用者2千人未満の線区、JR九州全20区間赤字、沿線とJRの連携さらに」と西日本9/7が伝えてきます。「路線維持へつづく模索、高校生や高齢者鉄路に背」の見出しです。

NHKが山下惣一さんの追悼番組、佐藤弘さんからの情報

(09/11)

西日本新聞の元編集委員で、農作家・山下惣一の聞き書き「振り返れば未来」の著者、バストセララの「食卓の向こう側」の担当者だった佐藤弘さんよりの情報です。山下惣一さんには、当所の自治体フォーラム(当時は福岡県自治体学校)でも記念講演をいただいたこともありま

※9月23日(土・祝)NHK総合午前6時10分〜53分で山下惣一さんの追悼番組「日本人は農なき国を望むのか」が放映されます。再放送は、NHK総合「9/26(火)前1・20・2・03 ※月曜深夜 ※NHKではとんど農業番組がつかれなくなつたなか、貴重な番組です。意見・感想を寄せて、視聴者の声を今後の番組づくりに反映させませんか

内田弁護士より―玉城知事の自治体外交を応援する論説(琉球新報)

(09/12)

東京の内田弁護士より、以下のメールをいただきました。転送します。

内田雅敏さん・お元気ですか。玉城知事の自治体外交を応援する琉球新報の拙稿及び字数の関係でカットした部分をお送りいたします。7月末に書いたもので、ちよつと時期遅れになっていますが、4日の最高裁辺野古判決、司法は、安保と天皇制について思考停止となりますが、それにしても逃げの一手のこの判決はひどいものです。かつて、沖縄密約電報事件に際して、西山太吉被告の弁護団長を務めた伊達秋雄弁護士(砂川事件一審の裁判長)がその弁論の結びで、最後の支えとなるのは裁判官の良心であるとして、「強い

て心情的にいうならば、裁判官は憲法に殉じ、法に殉ずるしかないのではありません」と述べた(澤地久枝『密約』)ことを思います。お元気でどうぞ! (弁護士・四谷総合法律事務所)

① 田川市、大任町長告訴へ、② 防衛省が土地利用規制法180カ所新たに指定へ、③ 防衛費の増額若者の貧困、どこ吹く風、④ 辺野古新基地、最高裁判決をどう見る・本多滝夫竜谷大教授

(09/13・2)

① 田川市、大任町長告訴へ、とは今日9/13の西日本のトップです。朝日の記事も添えています。かねてよりお伝えしてきた問題で田川郡大任町の永原譲二町長を、田川市が強要未遂容疑で、県警に刑事告訴するとの報道です。徹底して天下に見つめられる中でこそ、事態は開けてきます。

② 防衛省が土地利用規制法180カ所新たに指定へ、との9/12の赤旗一面トップの報道です。2面の180カ所の指定候補一覧もあわせて収録しています。

③ 防衛費の増額若者の貧困、どこ吹く風、との9/10の毎日の松尾貴史さんのコラムの紹介です。貧しくなった若者はコンビニもたむろできなくなった、との現実を伝えていま

す。私が早良区で小中学校のPTAの会長をしていた45年ほど前には、当時できたばかりのコンビニは要注意識場所として、見回りの対象になっていました。今、たむろもできないように、若者は貧困化しているとの現実を語っています。

④ 辺野古新基地、最高裁判決をどう見る、とは9/13の赤旗での本多滝夫・竜谷大教授の要領を得た解説です。「軟弱地盤評価せず国いいなり、知事の不承認は違法と言えず」と語り、憲法で保障されている地方自治を守るのか、国が強権で押しつぶすのかと、国民に呼びかけていま

へチマと水草、①ちばてつやさん・神宮外苑は大切な宝物、都が事業者に見直し案要請、②汚染水対策「迷走」の歴史・毎日、志位さんのなぜ「汚染水(アルプス処理水)」と呼んでいるのか・ラジオジャパンでの発言、③灼熱都市で「土地神話」と・

(09/15)

ご近所のへチマ、去年は暴風雨とへチマ自身の重さで何度も竹製の柵が崩れてしまいました。その反省から今年からは2列だけの栽培です。へチマの花は午前中だけ咲きます。もう一つは最近、地域の川掃除の際に採集してきた水草です。先住民の

スイレンに交じって、ピンと立っていて、なかなかおつなものです。

①ちばてつやさんが神宮外苑は大切な宝物と、漫画カットとメッセー지를寄せています。東京都が樹木伐採の着手前に、具体的な見直し案を示すよう事業者に要請しています。ともに赤旗9/13からです。

②汚染水対策「迷走」の歴史を毎日の9/13が、志位さんがなぜ「汚染水（アルプス処理水）」と呼んでいるのか、ラジオジャパンでの発言（9/13の赤旗掲載）の中で言及しています。

③神宮外苑問題と直結しますが、「区画・再開発通信」で糸長浩司さんが、灼熱都市で「土地神話」と「容積率神話」にあえぐ、を寄稿されています。

① 弾薬庫 北海道、鹿児島、宮崎、沖縄の4道県に、長射程ミサイル保管、② 処理水放出しても51年廃炉あり得ない、原子力学会・廃炉検討委員長に聞く (09/19)

① 今日9/19の西日本が一面トップで、防衛庁が整備方針 弾薬庫を北海道、鹿児島、宮崎、沖縄の4県に、長射程ミサイル保管、反撃能力強化へと伝えていきます。「情報不足 住民に不安も」と見出しにあります。

② 処理水放出しても51年廃炉あり

得ない、と日本原子力学会の宮野廣・廃炉検討委員長に聞くとの、9/18の朝日のインタビュアーです。「処理水のもとである汚染水が発生する状況をそのままにしているのか」「止水が必要だ。発生量をいつまでにゼロにするのか、見通しを示さないと、何時までも問題が残るのではないかと心配している」と語っています。このメールじょうほうでもたびたび取り上げてきましたが、現地の地質に精通した地学者の意見が反映されていないと指摘してきました。同検討委員会では、数十年からなんと数百年まで、四つのシナリオを提示しているそうです。

① 空腹の子ども支えたい・善意のリボン、② お父さんがほしい、杉良太郎さんベトナムの孤児ら2000人の里親に、③ 話そう神宮外苑のこと、④ 注視したい、学術会議有識者懇、⑤ 杉田議員の人権侵害認定・札幌法務局 (09/21)

① 子ども食堂のような取り組みをしているコンビニが、宝塚市など全国に約80あると、9/20の朝日が伝えています。フードリボン・プロジェクトと呼ばれるシステムで、客がリボンの形のマグネットを三百円で購入し店内の壁に掲示する。中学生以下の子どもがそのリボンを使って、一食分の食事を無料でできる仕組み。

② 昨日9/20の朝日の夕刊トップの記事、現在79歳の、当時44歳だった俳優の杉良太郎さんが、ベトナムで菓子やおもちゃを配り子供たちに喜ばれていたが、手を伸ばさなかった四姉弟の「お父さん、お母さんがほしい」の一言を聞いて、杉さんは外に飛び出し泣いた、「金、モノじゃない。自分の未熟さに気づかされた」

その場で4人を自分の里子にすることを決め、以来毎年ベトナムを訪問し、その後30年以上で約200人の里子を迎え入れるきっかけだった。最初の四姉弟のうちの姉、ガイさんは日本語教師となり、杉さんが建てた日本語学校で教えていて、杉さんの道を引き継ぎたいと語っている。私も青年期はベトナム人民支援に取り組みましたが、杉さんの実践には頭を下げるばかりです。

③ 話そう神宮外苑のこと、は9/20の朝日、オビニオン欄から、この問題を先駆的に取り上げた石川幹子中大教授（東大名誉教授）など3人の識者の意見を紹介しています。

④ 注視したい、学術会議有識者懇、は赤旗の9/20のコラム。学術会議も正式メンバーではないが参加し発言しているなど、あまり知られてない大事な動きを紹介し、有識者懇が

開かれた場となるよう、注視した方がいいね、と呼びかけています。

⑤ 杉田議員のアイヌ民族侮辱で、人権侵害認定と認定した札幌法務局が、杉田氏にアイヌ文化を学び、今後発言に注意するよう「啓発」したことがわかりました。9/21の西日本、朝日の記事を添付しています。

篠崎さん（研究所入居のビル管理組合で、長くがんばっておられる方：宮下兄さん 返事することはないけど、いつも興味深く読ませていただいています。ずばらなノンポリの私でも子どもの記事は心にしみます。あまり大きなことはできないけど近所、身の回り半径500m位で私でもお役に立てるような取り組みがあったら、ご紹介ください。近いうちに飲みに行きましょう

西九州新幹線、開業1周年特集（読売・毎日） (09/22)

昨年の9/23に、武雄・長崎間66キロが先行開通した西九州新幹線が、明日で開業1周年になりますが、毎日と読売の連載記事の紹介です。御祝儀記事の感を免れませんが、新幹線の収支は公表されておらず、交通評論家の佐藤信之氏は「輸送密度が1万人を大きく割り込む新幹線は鉄道会社が利益を出しているか疑わしく、西九州新幹線も苦しいだろう。新幹線で利益を出せないと在来線の

コストも削る必要があり、赤字ローカル線の営業にも影響が出かねない(毎日9/21)と語っているのは、ごく常識的な正論です。これでは、新幹線開業で踏んだり蹴つたりの在来線利用者は、依拠するところがなくなってしまう。9/20の佐賀県議会で、山口祥義知事が西九州新幹線整備を巡り、「空港ルート交渉に余地」との発言したことも、注目されています。

下東信三さん・1. ありがとうございます。2. 「国鉄の時代に、新幹線を博多に伸ばしてからは赤字になった」との、かすかな記憶(間違った記憶かもしれませんが)があります。「ドイツでは、自動車と鉄道をどういった形で組みあわせるのかと言う視点で、官僚が全体的な視野で交通体系を考えていつている。また企業も、自動車会社が、鉄道の車両を作っている」と聞いた記憶があります。それに対して、「アメリカでは、自動車会社が鉄道を買収し、その鉄道を廃線にして、自動車に載るようにならせていた」との記憶があります。自動車に関しては、道路を作るのは、国・自治体であるのに対して、鉄道は、路線を買収し、路線を引くのは鉄道会社であり、その費用は鉄道の利用者が全て支払わなければならない、と言うのはおかしいことですね。路線に関しては道路と同じ公的なもの

のと言うことであれば、路線は国・自治体で作る管理していくべきなのでしょうね。(鉄道の踏切の信号は、どこが費用を出しているのでしょうか。書きながら疑問が出てきました)

フォーラム⑤分科会のチラシできました、明日は4回実行委です

(09/25)

9/20のコリア研での議論、確認に基づき、世話役の松浦さんが分科会独自の案内チラシを、造ってくれました。この分科会は、フォーラム全体の参加費1000円に加えて分科会受付で、500円以上の追加徴収をお願いします。明日9/26(火)、18時から研究所で第4回フォーラム実行委です。よろしくお願いします。それから昨日の山の会は、佐賀県の天山に上りましたが13名の参加で盛会でした。

NHKの山下惣一さん特集に、大きな反響、再放送の御案内

(09/25/2)

9/23のNHKの山下惣一さん特集に、大きな反響が寄せられています。以下、番組に協力した佐藤弘・西日本新聞元編集委員からのメールを転送します。佐藤さんは11/12のフォーラムの③分科会で「山下惣一

さんの辿った人生から、なにを学ぶか」と題して講演いただきます。佐藤さんは西日本新聞連載の『山下惣一聞き書き「振り返れば未来」』の著者でもあります。

佐藤さん・宮下さん 山下惣一

さんの番組。続々届く、皆さんの感想にほっと胸をなで下ろしていたら、どうもNHK内部でも好評のようです。とはいえ、仲間内で話したり、SNSで発言したりするだけじゃ、所詮仲間内の話。小農学会「別班」からの報告によると、毎週月曜日に、NHKの経営者会議があり、そこで、皆さんからの声が報告されること。今週は間に合わないかもしれませんが、会議は来週も。幸いにして、今回、これまた、時間帯は悪いけれど、月曜深夜(火曜未明)に再放送、ネットなら30日まで、見逃し配信と、もうワンチャンスあります

「視た人の責任」として。ぜひ、そうした皆さんにお知らせした上で、1000人の声をNHKに送るプロジェクトに参加するよう、もう一押し、お願いします。

古田さん・宮下さん

「日本人は農なき国を望むのか 農民作家山下惣一の生涯」、ご紹介ありがとうございます。ありがとうございました！感謝します。全然古くないですね。みのう農民組合事務局からのチラシを転送します。NH

Kもいい番組を放映したらほめましよう！ **宮下**：久しぶりですね。お元気かと心配していました。昔はNHKは、農業問題をよく取り上げ、「明るい農村」など、目玉番組でした。これを若いころ担当した方が、NHKの満蒙開拓団などドキュメンタリーの先駆者ですが、私の仲良しで福岡総局長(当時九州の責任者)を経て、重役や子会社の社長にられました。最後は故郷・静岡県に戻られたが、ナマの報告を見たいとの希望で、フォーラム(旧自治体学校)の予稿集を送ると、丁寧な読後感を寄せていただいたことが思い出されます。

小松さん・宮下さま

いつもありがとうございます。山下惣一さんの番組、楽しみにしていたのに、すっかりして録画するのを忘れてしまいました。再放送のご案内、助かりました。早速、録画予約しました。ありがとうございます。

豊島耕一・佐賀大名誉教授から、出版のクラウドファンディング情報

(9/25/3)

大学時代同級生の豊島さん(専門は物理学)よりの情報です。

豊島さん・宮下様

おはようございます。翻訳書の出版のためのクラウドファンディングの情報を「福岡みやしたメールじょうほう」で流

していただけないでしょうか。以下の文章です。元・佐賀大学の豊島です。お世話になっております。イギリスの平和運動家アンジー・ゼルトーさんの「Activism for Life」(仮題「非暴力で世界を変えるー活動家という生き方」という本の翻訳出版計画を進めてまいりましたが、ようやく今月末に出版社に原稿を送る段階まで来ました。「400部買取り」などの資金捻出のためのクラウド・ファンディング(CF)を、先日開始しました(12/8まで)。CFサイト: <https://camp-fire.jp/projects/view/675547>

著者ゼルトーは仲間と共に、インドネシアに輸出される戦闘機を破壊、また原子力潜水艦の実験施設を破壊、しかも、いづれも無罪判決を受けるなど驚くべき成果を挙げています。直接行動ながら非暴力に徹する活動家です。ライトライブリフト賞ほか、数々の賞に輝く活動を本人自身が活写した半生記です。2012年にはノーベル平和賞候補にもノミネートされています。平和運動の実践と理論の本としては、本人自身の活動に基づくというだけでなく、そのスケールも他に類例を見ないものです。沖縄を除いては、市民運動に非暴力抵抗・市民的抵抗が活用されることが稀な日本の市民にとって、

またとない読み物になると確信しています。寄付額3,000円のコースでは、返礼品が出版される本自体なので、本の「先物買い」プラス若干の支援金と考えて頂ければありがたいです。どうか皆様のご支援、ご協力をお願いします。

11/12(日)開催の自治体フォーラム、分科会独自チラシ次々とできる (09/28)

コロナ禍の前に戻り、分科会独自のチラシを作成し、参加者を広げる方針ですが、②地域交通、④まちづくりと福祉、⑤関東大震災と朝鮮人虐殺問題の分科会世話役のご尽力で、添付のように、出来上がっています。さらに改良し、充実した分科会チラシにできたらと思っております。全体のチラシも、専門家の会員のご協力で、近くできあがる予定です。他の分科会も、よろしく願います。

(1)対馬市長核ごみ調査拒否、自治の見識示す、(2)選挙人名簿持ち出しの真鶴町長のリコール成立、(3)水俣病問題で大阪地裁が、全員救済に道開く画期的判決 (09/28、2)

久しぶり、自治ここにありを感じさせた事例です。ひとつは、対馬市長が市議会の判断を覆し、核ごみの

調査拒否、苦悩半年 対馬市「NO」と自治の見識を示しています、昨日の西日本夕刊トップと今日の朝日の社会面の記事を添付しています。「ぬぐえぬ風評批判『交付金20億円では』、国に質問状 支援示されず」との見出しで、北海道にも影響もと伝えています。

二つ目は選挙人名簿持ち出しで当選した神奈川県真鶴町長のリコールが成立した9/26と9/28の朝日の報道です。愛知県東栄町の経験に学んで、ローラー作戦で一軒一軒をすべて回ったそうです。その中心は元町長、元町議長、元教育長などのまちの重鎮たちだったとのこと。

真鶴町は乱開発から、優れた真鶴の「美の景観」を守る住民運動、行政施策で知られた町でした。同じ湘南地域の鎌倉市の、景観保全の取り組みと共に行政担当者や議員の方々が、かつての拙著「福岡に地方自治の風が吹くー自治立法権の活用と展開」(1988年、自治体研究社)を、これは国の法令、基準を上回る自治体の規制が可能かどうかを論じたものですが、活用していただいた嬉しい思い出もあります。長年、町を守ってきたメンバーが中心となつての、今回の快挙にあらためて敬意を表するものです。

三つ目が、水俣病問題で大阪地裁

が、「国などに賠償命令」を命ずる、全員救済に道を開く画期的判決を出しました。これも嬉しいニュースです。長年にわたる被害者や弁護士、支援者の運動が実を結んだものです。今日の朝日と毎日の報道です。

格調あるフォーラムの案内が、できました。全体会 分科会の報告フォーラムも添付 (09/29)

いつもの川口会員の、ご尽力を得て、フォーラムの案内チラシ(第一次)ができましたので、さっそくお届けします。ご活用いただければ幸いです。あわせて全体会・分科会の報告のフォーラムも添付します。

JR考 知事会『公共性』訴え反撃、神宮外苑再開発足踏み (09/30)

今日9/30の読売が、断続的な長期連載の「JR考」で、知事会「公共性」訴え反撃、地元存続へ負担受け入れもと報じています。以前、赤旗の記事で世論の反発を受けて、東京都が神宮外苑の再開発事業者者に具体的な樹木保存策を求めていることをお伝えしていましたが、今日の読売が「神宮外苑再開発足踏み」「樹木伐採年明け以降」と報じています。守ろう！神宮外苑の森。

研究所日誌

御案内

9/14 (木) 所報と雑誌の発送作業、9/15・16 (土日) 伊藤野枝100年フェスティバルに参加(石川、宮下、羽田野ほか)、9/20 (水) フォーラム会場の西南大・コミュニティセンター下見(宮下・羽田野)、映画に学ぶ会(ラストエンペラー、武井)、コリア研究会(松岡)、9/23 (土) 映画「ミナマタ」鑑賞、9/24 (日) 山の会(天山、13名参加)、10/26 (火) フォーラム第4回実行委、9/27 (水) 「ふくおかファントム6.2の会」学習会(報告は宮下・黒木)、福岡医療団理事會(宮下)、9/28 (木) 所報印刷のピンズファクトリー高田社長が相談に来所、9/29 (金) フォーラム⑤分科会打ち合わせ(矢野・吉村など5名)、9/30 (土) 県政研究会(相良)、内山昭・立命館大学上席研究員来所、月末決算、10/2 (月) 情報と人権研究会(小原)、10/4 (水) 所報10月号の編集作業、10/10 (火) 「戦争と人間第三部」(武井)、10/12 (木) 地域経済研究会(宮崎)、

◎地域経済研究会、10/12 (木)、14時 研究所、テーマ①『現代社会資本論』6章 地域エネルギーと社会資本集中型電力システムから分散型電力システムへ、報告者・宮崎康徳(研究員)、②北九州市と地球温暖化対策、報告者・是石喜文(北九州市OB)

◎食料農業部会、10月17日(火)、14時、研究所、テーマ 安田節子『食べ物が劣化する日本』の紹介と議論、第7章 畜産業で投与される抗生物質・ホルモン剤、第8章・1兆円を超えた食品添加物市場・第9章 健康被害のリスクを高める輸入食品第10章・食料主権の確立が私たちの生命と環境を守る、報告者・戸島信一・高木正見・城戸ひろ子

◎43フォーラム・第5回実行委、10月31日(火) 18時、研究所、成功に向けての最終的な打ち合わせを行います

◎県政・自治行政研究会、11月4日(土)、14時 研究所、テーマ「日田彦山線BRTの開通を巡って」、報告者・洲上一宏(運営委員)

山を楽しみ森林を考える会
11月26日(日)
切り立った岩峰を色どる紅葉
黒髪山(武雄市、標高516m)
鎮西八郎為朝伝説あり、風雅な雰囲気のある山。山頂から見る360度の絶景が楽しみ。
記
集合場所：JR二日市駅 東口改札前
集合時間：9時 自家用車に分乗して出発
持参するもの 弁当、飲み物、ステッキ、雨具、手袋、タオル、あれば軽登山靴
天候 前日21時のNHK天気予報で、降雨確率が50%以上の場合は中止します。
◇緊急連絡先◇
宮下携帯 070-5660-0269
羽田野携帯 080-5276-6916



天山(佐賀県、1046m) 頂上での笑顔、13名の参加(9/24)

のフォーラム⑤分科会「関東大震災と朝鮮人虐殺を考える」を11月の例会とします。
◎まちづくり部会、11/12(日)のフォーラム④分科会「まちづくりと福祉分科会」を、11月の例会とします。
◎山を楽しみ森林を考える会・黒髪山(佐賀県)に登山(下見の結果で変更の可能性あり)、11月26日(日)、9時にJR二日市駅東口に集合、必携(弁当、飲

み物、ステッキ、雨具、軽登山靴)、詳細は左記参照
◎情報と人権研究会、11月30日(木)、18時、研究所、テーマ「デジタル化と地方自治」(自治体研究社)を読む・第2章 デジタル田園都市国家構想の概要と問題点、報告・石川捷治九大名誉教授(政治史)、
◎研究会・映画に学び考える会、10/10の例会で次回を決定。

第43回福岡県自治体フォーラムの御案内



「住民が真ん中・豊かな環境・デジタル化の課題 ～多様性あふれる新時代をどう創るか」

11/12 (日)

どなたでも
気軽に御参加を

<時間>、9.30 受付、開会 10 時、閉会 16 時
<会場> 西南学院大学・西南コミュニティーセンター (地下鉄西新駅 3 番出口)
*駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください

<主催> 公益社団法人 福岡県自治体問題研究所
812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-19-3-508 Tel・Fax 092-472-4675
jiti@ked.biglobe.ne.jp https://jitiken.jimdofree.com
<参加費>1000 円 (会場費・テキスト代)

シンポジウム・「住民が真ん中・豊かな環境・デジタル化の課題 ～多様性あふれる新時代をどう創るか」

<全体会・10～12時>



◎政治学の立場から
(石川捷治
・九大名誉教授、
兼・コーディネーター



◎行政法学の立場から
(小原清信
・久留米大学法学部教授)



◎医療の立場から、
保険証問題など
(洗川和也
・福岡県民医連
事務局長)

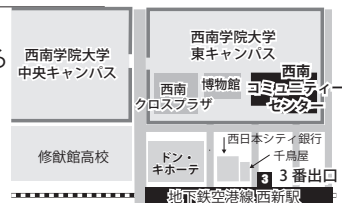


◎自治体に働く
立場から
(懸谷一
・福岡自治労連)

<昼休み・昼食は各自で御持参ください>

<分科会・13時～16時>

- 1 憲法と平和・オスプレイ問題分科会
*問題提起 石川捷治・九大名誉教授
◎憲法問題の現局面と課題を考える(村井正昭・弁護士・9条の会福岡県連絡会事務局長)
◎佐賀空港オスプレイ等配備を考える(梶島敏雅・弁護士・柳川市在住)
- 2 地域交通問題分科会(6/3総会記念シンポを受けて)
◎JR九州・地域鉄道問題のポイントは何か
(赤塚隆二・鉄道問題研究者・ジャーナリスト・『清張鉄道1万3500キロ』著者)
◎JR問題と公共交通政策のありかた(遠藤雄二・元九州大学准教授)
- 3 食料・農業問題分科会
◎「山下惣一さんの辿った人生から、なにを学ぶか」
(佐藤弘・西日本新聞元編集委員・『山下惣一聞き書き「振り返れば未来」の筆者)
- 4 まちづくりと福祉分科会
◎「児童虐待・家庭DV・独居老人介護～行政と地域の課題を考える」
(羽田野盛仁・福岡県自治体問題研究所事務局次長)
◎「災害時避難支援『指針』の変遷から見る民生委員制度の諸問題」(杉谷雅博・嬉野市民生委員・児童委員)
- 5 関東大震災と朝鮮人虐殺問題を考える分科会
◎ドキュメンタリー映画『隠された爪跡』(呉充功・監督作品)を観て考える
*解説は松岡節子・会員(朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク会員)
呉充功監督と在韓の御遺族も特別参加・発言
*映画使用料としてこの分科会だけ500円別途徴収
- 6 特別講座・映画を楽しむ学ぶ
◎映画『蟹工船』(監督・山村聰)に学ぶ歴史の教訓
◎講師・矢野寛治(映画評論家・作家)



西南学院大学・西南コミュニティーセンター
(地下鉄空港線 西新駅 3 番出口より徒歩 5 分)